

# 小山田筑前の墓

所在地 宮城県加美郡加美町字薬師堂

指定 加美町指定史跡 昭和 53 年 3 月 31 日

## 概要

伊達家の家臣で、柴田郡小山田城（大河原町）の城主小山田筑前は、天正 16 年（1588）2 月の大崎合戦の時に、伊達軍の軍奉行として出陣しました。伊達軍は大崎軍が守る中新田城を攻めたものの、城代南条氏らの守備隊がよく防いだため、城を落とすことができず退却しはじめました。それを見た大崎勢は一斉に伊達軍に襲い掛かり、その乱戦の中で小山田筑前は戦死しました。伊達軍は命からがらで自軍の新沼城へ逃げ込みました。

小山田筑前の墓は、もとは並柳より 100m ほど東方の三本木街道南側の薬師堂囲いにありましたが、鳴瀬川堤防工事に伴い昭和 28 年に現地へ移転しました。なお、地名の由来は、小山田筑前が戦死しその首を葬り薬師堂を建てたからと伝えられています。

